

Bulletin

The Lions Times

District 335-C

12.
1

2007
No.500

12.1月

国際会長テーマ

〔 We Serve 〕 Jimmy M.Ross



東洋東南アジアより初のライオンズ国際協会
第65代国際会長・村上 薫 (国際会長室にて)

今月の
特集

- ガバナー公式訪問報告
- 委員会報告 ●MERL委員会報告

アクティビティスローガン 「情熱・絆・行動」

ガバナーテーマ 「初心に返って “We Serve” 」

最高のくつろぎを
提供するために。



都の風情と最上のホスピタリティを。

古都の風情を今に残す京都東山。ここに183有餘年前から佇んでいるウエスティン都ホテルの京都。世界のVIPたちをも満足させる最高のホスピタリティ。中絶しい季節の表情を楽しみながら、心豊かになりときをお過ごしください。

THE WESTIN MIYAKO
KYOTO
ウエスティン都ホテル京都

〒605-0932 京都府東山区三条河原町1-1 TEL 075-777-7111 FAX 075-751-2490 <http://www.west-miyako.com/>



ライオンズクラブ国際協会
335-C地区ガバナー

八 峯 隆



GOVERNOR

輝かしい新年をお元気で迎えになられたことに対し、まず心から慶祝の意を表します。
昨年7月4日、米国・ボストンで開催されました第89回国際大会にて、地区ガバナーに就任して以来半年経ちました。その間キャビネット会議、各種委員長会議やセミナー、地区内123クラブの公式訪問等数多くの公式行事を終えることが出来ました。これ偏に皆様の暖かいご支援ご協力のお陰と厚くお礼申し上げます。

前半のガバナーとしての大変重要な任務であります公式訪問におきましては、同行頂いた地区役員の皆様方には数々のご協力を頂きました。特に合同例会、懇談会の司会進行を受け持たれたホストクラブの会長、幹事様には、私の挨拶に多くの時間をお取り頂く配慮をして頂き有難うございました。公式訪問に際し、各クラブよりご提出頂いた報告書につきましては、事前に十分読ませて頂き、私の知らなかったこと、初めて気がついたことなども多くあり、大変勉強をさせて頂きました。ガバナースローガン『初心に返って』WE SERVE』のもと、本年度の重点目標「情報の効率化」、「ライオンズクエストの推進」、「CSF IIへのご協力」につきましては、十分にご理解を頂いたものと自負しております。

後期に入り、アクティビティスローガン『情熱・絆・行動』を実行する時期であります。特にアクティビティに關しまして今も心に残っておりますのは、村上薫元国際会長がずばりといっておられる遺訓が頭の中に残っております。

奉仕に關する故村上薫元国際会長の遺訓

私共は、社会奉仕するクラブ員である。社会奉仕の業のいかに困難であるか、いかに神聖な業であるかを考えてみなければならぬ。人間はこの世に生を受けることによつて、皆それぞれ幸福な生活を営む権利をもっている。それは神の授け給う特権である。これに対して、社会の恵まれない谷間に光を投ずるといふ仕事は、いわば神に代わった仕事でなければならぬ。奉仕が聖業とも言われる所以である。だからこそ、この仕事は、いとも簡単に出来る道理がない。

(複合地区運営要項P106)

来る4月7日には、本年度の集大成であります第53回335-C地区年次大会が開催されます。多くのメンバーのご参加を期待しています。

本年が皆様方のご多幸とご繁栄の良き年でありますことを祈念して、念頭の挨拶といたします。

「初心に返って “We Serve”」



Cabinet

日本人として初めての国際会長

元国際理事 坂口 正一



私は所属クラブのチャーターメンバーで、入会してから44年になります。その間忘れ難い色々の思い出がありますが、

のうちの一つを紹介します。それは昭和57年1月22日から約10日間、村上国際会長の公式訪問に随伴して、印度、マレーシア、シンガポール、インドネシア、香港を訪問した時のことでもあります。その行く先々では、戸惑うほどの熱烈歓迎でありました。特に印度ではライオン、ライオン夫人など空港の待合は一杯で、身動きも出来ない位でした。察するに、村上さんは東洋からの初めての国際会長であるとの、人種的な親近感がそうさせたのではないかと思えました。

その間、特に印象に残ったことは、時の印度首相・ガンジーさん(女性)の私邸訪問でした。樹木の多い広い敷地の中にある私邸は、誠に質素なものでした。応接室もお粗末で、正面に父ネール前首相の写真が掲げられていました。彼女は印度人特有の小麦色の肌、鋭いまま差し、大変な美人でもありました。約二十分間、村上会長を中心として色々の話し合いがありました。その言葉の端々に、彼女の親日的感情を十分読みとることが出来ました。当時この国は共産国と自由諸国との双方をうまく操っているとは承知していましたが、日本は当時政府レベル、民間レベルの双方から色々の援助をしており、また同じ東洋人種であるということ、特別の親近感を懐いているのではないかと思えました。帰る時、我々一人一人と握手を交わし、記念写真にも応じました。

それから約2ヶ月後、出勤途中、彼女は反対派の凶弾に倒れたというニュースが伝えられ、大きなショックを受けた次第です。

さて話は戻りますが、1月26日の印度の独立記念日のパレードも素晴らしいショーでした。半分はミサイルやトレーラーに積載した戦闘機などの最新兵器のパレード、半分は印度各地からやってきた各民族のパレードでした。沢山の象に乗った国境警備隊のパレードなど、印度ならではのの見せ物でした。印度は実に数十種類の民族から成り立っていることを初めて知りました。中には日本人そっくりの顔をした民族もいて驚きでした。彼等はそれぞれの民族衣装をまとい、フロートの上で色々の芸を見せていました。私はこの行事によって、印度の軍事力を誇示し、併せて民族相互の融和をはかるのが狙いと思えました。

アグラでは日本企業から、特に日本ライオンズからの多額の寄付によって出来た国立ハンセン病研究所を見学しました。ロビー正面には、先年航空機事故で亡くなられた宮崎博士のブロンズ像が安置されていました。印度は特にハンセン病の多い国ですので、村上会長も是非ハンセン病療養所を見学しようということになり、郊外にある約千名の患者が収容されているハンセン病療養所を見学しました。鉄条網で囲まれた広い療養所で幾棟もの病舎があり、顔や手足に包帯をした患者が多く入所していました。こういう特殊な所に対して、印度のライオンズやその夫人達が直接療養所に向いて熱心な奉仕活動しておられるのを見て、深い感銘をうけました。

バンコックでの会長歓迎プログラムの素晴らしいものでした。ウェルカムプレゼジデントの仕掛け花火や民族芸能も盛り沢山でした。チェンマイは古い都で、京都のような落ち着いた美しい街で、タイはさすがに古い歴史を持ち、伝統文化豊かな国であることを知りました。

マレーシアの首都・クアラルンプールもまた高層ビルや緑の多い美しい近代都市でした。首都官邸も訪問しましたが、先年退任したマハチール首相が丁度新任したところで、一見日本人そっくりに見え、また医学部出身と聞いて、よけい親近感が湧きました。

以上は二十数年前の昔話で恐縮です。年寄りには遠昔話をして嫌われるのを承知していますが、内容は今日でもいささか参考になるかと思ひ、又たまたま村上会長さんの御息が地区PR・情報・IT委員長としておられる縁をもって、敢えて一文を草した次第です。

村上 薫 (日本) 東洋東南アジアよりの初の国際会長

京都クラブの村上薫氏は1981年(昭和56年)フェニックスの国際大会で日本人で初めての国際会長に就任した。

『ピープル・アット・ピース』と就任第一声でこう訴えた。平和を願う国際会長の訴えでした。就任した後の村上会長の東奔西走ぶりは、文字どおり世界を一周しての活躍ぶりでした。1982年アトラクタの国際大会での退任後、わずか4ヶ月余で病魔に冒され逝去されました。

村上薫氏は裏千家淡交会副理事長をつとめられ、後々まで村上氏の日本人的特質と言われた性格は、茶道に於いて養われた利休の和敬・清寂の精神が身についたものといわれています。

(ライオンズスピリットより)



第2回キャビネット会議開催

日時：10月26日(木) 場所：リーガロイヤルホテル京都

ライオンズクラブ国際協会335—C地区

委員長の報告では、各委員会も活発に行われていることが発表され、特に、ライオンズクラブの委員会では先生からの強い要望もあり、ワークショップの開催が数多く予定されています。また、須藤副地区ガバナーから、閉会の挨拶で「MERL委員会、会員の維持・増強の方策を考えているが、出来ればそのマニュアルを作成して、各会長さん方にお示ししたい」と述べられ、更なる協力を要請されて閉会した。



第2回キャビネット会議が、60名のキャビネット構成員と前年度の会計報告、監査報告に由来した前年度役員の出席のもと、リーガロイヤルホテル京都にて開催された。
八郷ガバナーは開会の挨拶で、公式訪問を1つ残すだけとなり、皆さんの協力のおかげで和やかなうちに進めることが出来たことに對し、感謝された。また、会員の維持増強、IT、ライオンズクラブ等への推進を強く要請された。

審議事項では、まず、前年度の決算報告、監査報告がなされ承認された。次に、次期地区ガバナーエレ



12月

ライオンズクラブ国際協会335—C地区

麻薬・覚せい剤乱用防止運動 京都大会

日時：10月29日(日) 場所：京都市内



「覚せい剤乱用ダメ」

京都防止大会 900人パレード

麻薬や覚せい剤のない、運動京都大会が、十社会の支援を受ける「麻薬・覚せい剤乱用防止」の大会が、京都市内で開かれ、参加者約900人が

パレードを終った後は、シルクホールで、吹奏楽部の演奏が聞かれ、吹奏楽部の演奏を麻薬探知犬によるアモニストレーション

中、吹奏楽部が演奏しながらパレードが出発。麻薬乱用のない明るい社会を築きましょう、この横断幕を掲げながら、四條通りを走った。

吹奏楽部の音楽とともに麻薬のない社会をアピールするパレード参加者たち
京都市下京区、四條通り

京都新聞10/30日朝刊より抜粋

川島公園(東山区)や、池坊公園(下京区)まで、市民や観光客に「覚せい剤はダメ」とアピールした。
京都府、府警、ライオンズクラブ国際協会などの五団体の主催。府警音楽隊、カントリーガード隊、京都橋高、京都市立1京中の吹奏楽部が演奏しながらパレードが出発。麻薬乱用のない明るい社会を築きましょう、この横断幕を掲げながら、四條通りを走った。

ライオンズクラブ国際協会335—C地区

第2回 335複合地区ガバナー協議会 開催される

日時：10月19日(木) 14:30~17:00 場所：新都ホテル

京都市・新都ホテルで、45名の協議会メンバー参加の下、開催される。
335複合地区ガバナー協議会議長L高橋祥治の開会、ゴングが始まり、335複合地区協議会幹事L八郷隆の開会の言葉があり、335複合地区ガバナー協議会議長L高橋より挨拶、引き続き国際理事候補L重松、元国際理事L福井、L亀井、L米島の挨拶を戴きました。各委員会報告に入り、各委員長より経過報告、要望、決定事項等の報告がありました。
国際理事候補L後藤の紹介と挨拶があり、次回、2007年2月1日(木)神戸ポルトピアホテルでの開催を決め、盛況の内に終了しました。



●ライオンズクラブ国際協会335—C地区●

第23回京都・滋賀・奈良地区 アイバンクシンポジウム

日時：10月28日(土) 場所：橿原文化会館

第23回京都・滋賀・奈良地区アイバンクシンポジウムが、本年は奈良の橿原で開催されました。アイバンク会長と八島ガバナの熱いご挨拶！そして湯川先生の「角膜移植と緑内障」という演題でわかりやすく、どんなものかというのをお話いただきました。そして実際に角膜移植を受けた方からの話を紹介され、感極まるものがありました。

そして後半、ソプラノ歌手の澤田理絵さんのコンサートでした。澤田さんも視覚障害者で、横には常に盲導犬が寄り添っていました。コンサートも素晴らしいものでしたが、曲と曲の合間に日常生活や盲導犬のお話をしてくださって：これが非常に心に響きました。よく「もし目が見える様になったら何がしたいですか？」という質問をされるらしいです。「もし、目が見えるようになったら：一度でいいから車を運転してみたい：それが夢です」と言われました。私らにとってはなんとも思わない「車を運転する」ということが「夢」なんです。それをよくよく考えてみました。

この当たり前に目が見える：ということがどれだけ幸せなことか：!? っていうのをヒシヒシと感じ、アイバンクの活動がどれだけ大切なものか：ということも再認識させていただきました。

桜井ライオンズクラブ 森本 陽一郎



●ライオンズクラブ国際協会335—C地区●

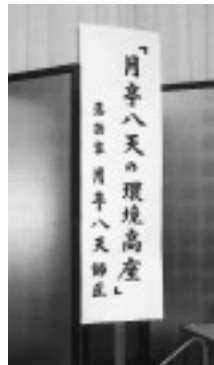
環境保全セミナーを終えて

日時：10月25日(水) 場所：リーガロイヤルホテル京都



「楽しく学ぶ身近な環境問題」と題して開催させて頂きました「環境保全セミナー」には地区内各クラブ様より百六十余名の方々にご参加を頂き、無事終了させて頂きました。冒頭での八島ガバナのお話、また来賓としてご出席を頂きました複合地区環境保全委員長L山田昌次の経験豊かなお話で幕を開けたセミナーでしたが、委員会として、ましては、ご参加頂いた方々にどの様に楽しんで頂くか苦慮した結果、落語家「月亭八天」師匠を招いての落語を聞くセミナーとなりました。エコライフを基調とした「どけち生活」をテーマにした師匠の創作落語をお楽しみ頂きましたが、はたして環境保全セミナーとしてふさわしかったかどうかは、ご出席頂いた方々のご判断に委ねたいと思います。この後当委員会では、国際協会の環境保全写真コンテストに参加する作品を募集し、確かな成果を挙げたいと考えています。宜しくご協力頂きます様お願い申し上げます。

地区環境保全委員長 西尾 観光



第19回国際平和ポスターコンテスト展

日時：11月12日(日) 場所：桜井市立図書館

平和の尊さを訴える

子どもの作品1085点



世界平和を訴える子どもたちの「国際平和ポスター展」

奈良、京都、滋賀3府県の子どもたちが、世界平和の尊さを訴えて描いた「第19回国際平和ポスターコンテスト展 平和を祝して」(ライオンズクラブ335—C地区主催)が12日午前10時から午後4時まで、桜井市河西の市立図書館で開かれる。

11～13歳の子どもたちが描いた応募作品1万5555点のうち、入賞58点と、奈良県内の応募作品計1027点を展示している。平和のシンボルの白いハトが、万国旗を掲げて大きく羽を広げ、地球を守る姿を描いた桜井市立朝倉小6年、藤本貴大さん(最優秀作品・同地区ガバナ賞)の作品など、平和を願う子どもたちの優しい心が伝わってくる。

同コンテストはライオンズクラブ国際協会(本部：米国)が88年から毎年、世界各国の子どもたちに呼びかけて開催。最終審査の国際大賞(1人)には賞品が贈られ、国連本部(米国)へ招待される。

【稲田敏雄】

(記事は「毎日新聞」11月12日分・朝刊より転載)



委員会報告



「YEプログラムは減びるか？」

地区YE委員長 福原 誠作

YEプログラムは減びるか？

毎年今ごろになるとYE委員会は頭が痛くなる。来日学生の受け入れに大わらわで、最近それが余りはかばかしくいかないからである。全国レベルでもYE生が減少していつている。このままではやがてYEの灯が消えるのではないかと危機意識さえ流布している。しかし、ライオンズクラブが青少年育成を主要アクティビティとしている限り、国際的組織の青少年交換プログラムは衰退しないし、させてはならない。

最近来日生受け入れホストファミリーの減少が特に顕著であるが、私たちライオンは初心に返ってーウィ・サーヴーの精神を発揮してほしい。ホスト家庭が敬遠されるのは、会員の恒常的多忙と、特に会員夫人の苦労や生活様式の違い、語学の壁、話し相手になってくれる同年代の人がいないといった様々の理由があるかと思う。しかし、友愛と寛容の犠牲的精神と周囲の協力があれば、学生を心から歓迎することはそう難しいものではない。かつてあるガバナーが受け入れが難渋していることを知って、五千人も会員



がいながら、一人の学生もままにならな

いのはどういうことか？ と喝をいれられたことがあった。直後、その効験があったことがあった。これだと思うのは、ホスト引き受けは仲々自発的には手があがらない。ここはクラブや各ゾーン、リジヨンのチェアパーソンが多少とも強引に説得して引き受けさせていたきたい(無論、相手方の家庭の事情を考慮せずに強制であってはならない)。YE生も従来のように大量派遣・大量受け入れの時代は終わり、少数で質の良い学生が来るようになった。当然、学生たちを迎えるホスト家庭の方も接し方が変わってきている。異文化体験からその国の風俗習慣や観光も重要ではあるが、最近の学生は、この機会に自立精神を養い自分を変えるチャンスであると考えている。受け入れ減少の遠因にもなっているモノ中心の過剰接待はもう要らない。

ある年、熟年の夫婦の家庭にペルーの女の子がホームステイをした時のこと。奥さんが運悪く流産に罹り高熱で寝るハメになった。主人は仕事で留守、ひとり

取り残された彼女はとっさの判断で、一日中隣室に居て、冷やシタオルの交換をして看病をしてやった。見ず知らずの日本の女性の看病のためにわざわざペルーからやって来たようなもので何の因果か運の悪いホームステイであった。しかし、彼女は顔色に出さず始終スマイルで別れを惜しんで帰国していった。私はこのエピソードに感心し、YEの「こころ」は



「クラブ会員の意識改革」

地区CSFII・LCIF委員長 中嶋 和義

ライオンズクラブは奉仕団体である。

我々は社会奉仕活動を第一の目的とする。(We Serve) 今更、何を言うてんねんと怒られるだろう。ところがこの言葉が最近げげているような気がします。我々には優先せねばならない仕事があり、家庭があり、生活がある。その隙間を利用してのライオンズ活動であって、思うようにはいかないもの。ましてや経済事情もまだまだ我々のところには届いていないのが現状です。せめてもの救いは、気晴らしに気のあった会員同士の例会での交流と、語らいの場があることだ。この現実を踏まえて、奉仕活動やクラブ運営は楽しくすればよいと思います。

しかし、会員の自覚として、品位と、時間と、ある程度の出費(CSFIIなどは、奉仕活動をする上で絶対必要条件であることも認識し覚悟せねばならない。ライオンズクラブの改革・合理化と言われて久しい。会員増強、地区・リジヨ

これだと思った。YEプログラムは世界のライオンと命運を共にし、時代が移り、人が替わっても連綿と続いていく。真面目で真剣に未来を信じている青少年のために、暖かい支援の手をさしのべて頂けることを切に望んでやまない。

ン・ゾーンの区分け、クラブ運営・事業費の合理性、奉仕事業の見直しなど、挙げればきりが無いのが現実です。しかし実際に今、我々に求められる姿勢とは、メンバー自身のライオンズクラブライフ・活動に対する姿勢、あり方そのものではないでしょうか。いわゆる会員の意識改革である。公式訪問の各クラブ会長さんの発表で感じたことは金銭アクティビティより労力奉仕と考える傾向があるが、若い一部のクラブを除いて平均年齢60歳代後半のクラブが、果たして十分な労力ACTが可能でしょうか。青年会議所やNPO法人のボランティアによる労力奉仕は若さあふれる活動であり、ライオンズクラブは一線を引くことも気がつくべきと思う。無駄を省いた事業資金をもとに、有意義な知的奉仕に切り替えるべきと思いました。

公式訪問では、「楽しい例会を」とほとんどの会長さんから聞きました。



しかし「楽しい例会」ではなく「意義ある例会」と大人の表現にして欲しいものです。

今一度ライオンズ必携の序文をよく読み理解してください。

さてCSFIIの報告ですが、ライオンズクラブは寄付団体ではないと言われる。だが人を救うのは寄付行為ではない。災害や病気で苦しむ人々に救いの手をさしのべるのは人間としての務めであり、ライオンズのバッジを付けている分別あるメンバーなら、災害地への献金など(CSFIIもその一つ)。進んで、自ら進んでして頂きたい。そしてせっかく世界最大の奉仕団体に入会しているのですから一人では出来ないスケールの大きな「奉仕が出来る喜び」(複合でよく出る言葉です)をあじわって頂きたい。

3351C地区は、日本ライオンズクラブの中でも会員増強、又ACT成績においても常に上位に位置しています。これは、やはり八郷ガバナー始め地区役員の皆様のご熱意と気持ちの後押しして頂いている事に感謝して報告に代えます。

CSFIIの現況

2006・7月～9月(3ヶ月)

*議案書の、15PのMD大島康男の報告に目を通してください。

*視力ファースト・キャンペーンのために5150万ドルが集まりました。

(内3351C地区は899、571ドルで、今年度7～9月で176、551ドルです。)

*視力ファーストプログラムにより2700万人の視力が救われます。

*1245のモデルクラブがCSFIIの道を先導することを宣言しました。

(内3351C地区は84クラブで、今年度13クラブが今のところ追加で参加内19クラブがキャンペーン達成済)

*9月29日までに、グループコーディネーターから報告された3351C地区の目標額は、合計66万ドルとなりました。

*3351C地区のメルビン・ジョーンズ・フェロー(MJF) 56名6、496、000円(内7～9月25名2、900、000円、その他の献金13、983、916円(内7～9月迄7、032、036円)、全てCSFIIに指定。

グループコーディネーター様へお願い
ガバナー諮問委員会、又、各例会にてCSFIIのDVD(国際本部より、各クラブに1枚送られている)プロモーションを必ず見て頂くこと。

*CSFIIについて、グループコーディネーターより、もう一度各クラブ会長に趣旨及び意味を説明していただき、理解をもとめて下さい(CSFIIの意味さえ理解されていない会長さんがまだまだおられます)。

*モデルクラブについても、もう一度ご尽力頂き、足並みが揃うよう、参加指導をよろしく願います。

以上、御質問お待ちしております。
E-mail:kazuyoshi@hyotanyaco.jp

「上半期委員会報告」



地区環境保全委員長 西尾 観光

環境保全委員長を拝命して、これと言った実績も無く、半期を過ぎようとしています。

7月18日に第1回の委員会を開催し、今年度の委員会事業について検討しました結果、副委員長様、担当キャビネット運営委員長様のご賛同を頂き、左記の通り事業計画を立てさせて頂きました。

一、地区内全クラブを対象に「環境保全セミナー」の開催
二、ライオンズ環境保全写真コンテストの参加
三、その他、地区内リジョン、ゾーンより環境保全事業について支援要請があれば委員会において検討し、対処する。

「環境保全セミナー」については、副委員長様のご意見を頂き、講師の選定を行い、10月17日第2回の委員会において

具体的な計画を立て、10月25日複合地区環境保全委員長・L山田昌次のご出席を頂き、開催させて頂きました。各クラブより一六〇有余名のご参加を頂き、講師・月亭八天師匠のエコライフを基調とした「どけち」生活の落語に、笑いと拍手で無事なごやかに終了させて頂きました。

環境保全写真コンテストにつきましては、既に各クラブ様にご案内申し上げております通り、12月20日締め切りにて作品の募集をいたしました。奮ってご応募いただける事と期待しています。

環境保全に関わる啓蒙活動としましては、前年度にない、ポスター、或いはステッカーの制作等も検討したいと考えています。宜しくご協力頂きますようお願い申し上げます。

「2006～2007年度のレオ地区活動」

地区レオ委員長 鈴木 章



毎月レオ、会長・藤田、幹事・西村、

会計・森口始め役員が集まり、その日のレオ協議会に先んじ数々の課題を話し合い役員会を開いております。その後レオ協議会が開かれます。協議会は各レオクラブの役員諸君が出席して各クラブの

現状や問題点や行動が話し合われます。

第1回は7月16日を始めて8月20日、9月10日、10月1日、11月12日、とその時の日曜日に役員会、協議会がKPC会館や「ばるるプラザ南青少年センター」で開催されました。又3351C複合地区



の会合が2ヶ月に1回同じ場所で開かれております。今年度は335複合地区の会長として藤田会長がたずさわっています。その関係で京都で開催されています。ライオンズクラブとしては、L広瀬来三が複合委員長として各複合の会合に出席していただいております。複合のアクトとしてはラッキースタンプを集めています。ライオンズの会員の皆様も出来ましたら御協力をお願い致します。

8月の役員会や協議会には八島ガバナ1、櫻井幹事、菅原キャビネット委員が出席をして頂きました。スライドを中心に、レオ諸君に色々な問題や行動をガバナ1より熱心にお話しいただき、レオ諸君も大変感動を受けた様でした。10月15



「活動及び下半期の計画について」

地区視力ファースト・献眼推進委員長 藤原 守正

今期発足以来、早や半期を経過しようとしていますが、当委員会として此の間行ったことは次の通りです。献眼推進という活動は権力でもお金でも行えるものでなく、人個々の善意に基づく心の活動と言っても過言ではなく、その具体的な方法として、一にも二にも啓蒙という行為以外には無いと結論づけた次第です。

現ガバナ1もこの点先刻御承知と見えて、ガバナ1公式訪問に随行を許された時には、特に発言を許され、出席された会長、幹事に懇談会の場で啓蒙PRを行うことが出来ました。又9月には、献眼登録者数の調査を複合地区より依頼され

日には、城陽スポーツ体育館で3351Cのレオスポーツ大会に、80名の各クラブの会員が集まり、大変有意義な大会が開催されました。11月26日(日)には梅小路公園において、レオ委員会の皆様による献血に対する啓蒙運動やバザーが行われる予定です。当日はガバナ1L八島や櫻井幹事も御出席の予定です。皆様の御出席もよろしくお願い致します。



「人命救助のために献血を」

地区献血・聴覚障害者福祉委員長 田中 弘之

「角膜移植を受けた方のお話」と題して朝倉あさみさんの朗読がありました。満場水を打った如くとは此の様な事を言うのでしょうか！300人になんなんとする会場が感激の場と化しました。こんなにも「愛の光」を得て「見える」ということを喜んでくれる人がいる。関係者一同、献眼推進という活動の意義を改めて再認識させられた次第です。最後に旨目のソプラノ歌手、澤田理絵さんのトークとソプラノコンサートを聞き多くの感

「献血」は会員が最も身近に、しかも無償で行える善意の奉仕活動であることは申し上げるまでもございません。今年も献血奉仕にご協力頂き厚く御礼申し上げます。

各クラブ様より毎月の献血実績の報告を頂いておりますが、立派な成績を挙げておられるクラブと全然そうでないクラブがございます。高齢化が進み献血者が減少しているのが現状ですが、全国でも屈指の実績を挙げてきている3351C地区です。

献血成績はクラブアクトのパロメーターとさえ言われております。人命救助のためにご理解頂き、各クラブの担当委員様より一層のご奮闘、ご協力を伏してお願ひ申し上げます。又聴覚障害者事業に関しましては、NPO法人・デフピープルに関するPRが不足のためC1地区で

銘を受けて終会となりました。本当に意義ある一日だったと感じています。

次いで11月16日には第4回アイバンクサポーター認定講習会。下半期には、全クラブ視力ファースト献眼推進委員長会を計画しております。3351C地区の全クラブ会長幹事に更なる啓蒙を行い、引いては全クラブ員に献眼推進の意義を認識して頂く様努力する所存です。

の活動が低いのが現状ではありますが、年度の早い時期に難聴者支援事業の企画とそれに伴う費用を申請して、必要な助成金を確保されますようお願い致します。

平成18年度に於きましては、デフピープルに対しC1地区より7クラブより7件の申請がありました。2件が却下され、その中で京都賀茂LCから申請の手話劇コンクール京都大会への助成申請額の100万円に対し、全額100万円が交付されています。

「耳」に関する難しいアクティビティでありませんが、献血と同じく身体に関する重要な援助事業でありますので、関心をお持ち頂きご援助賜りますようお願い申し上げます。以上ご協力宜しくお願い申し上げます。



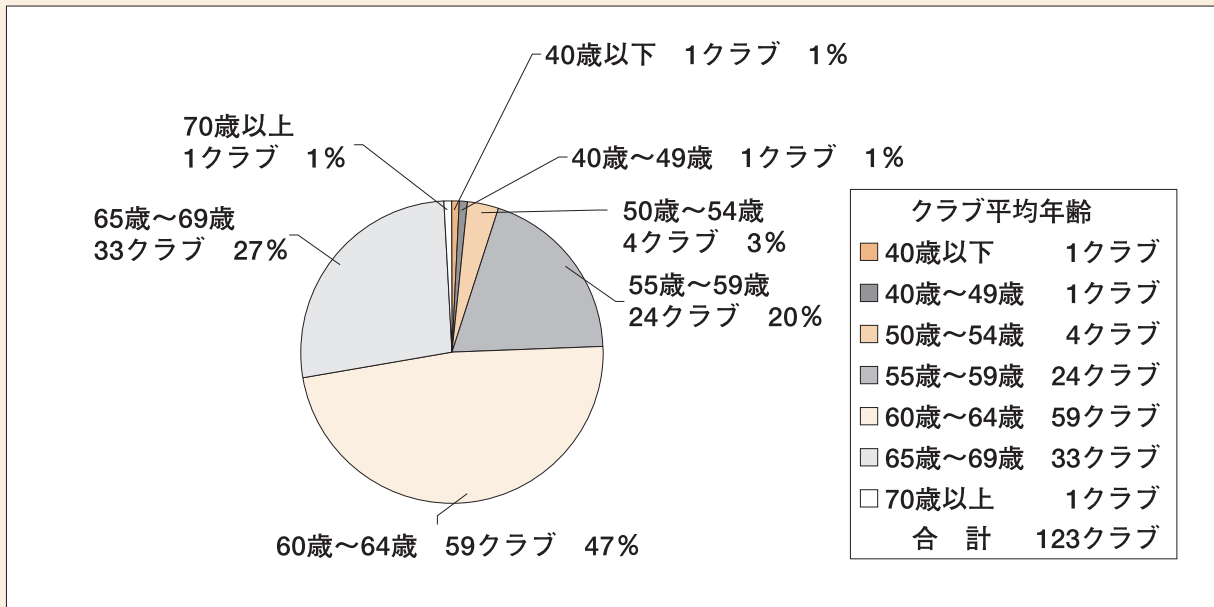
2006～2007年度

ガバナー公式訪問報告

2006年9月6日から11月14日までに22ゾーン、24回のガバナー公式訪問を行いました。各クラブから寄せられました質問書の回答をまとめたものを報告いたします。紙面の都合上、全ての回答は掲載できないことをご了承ください。

クラブ平均年齢

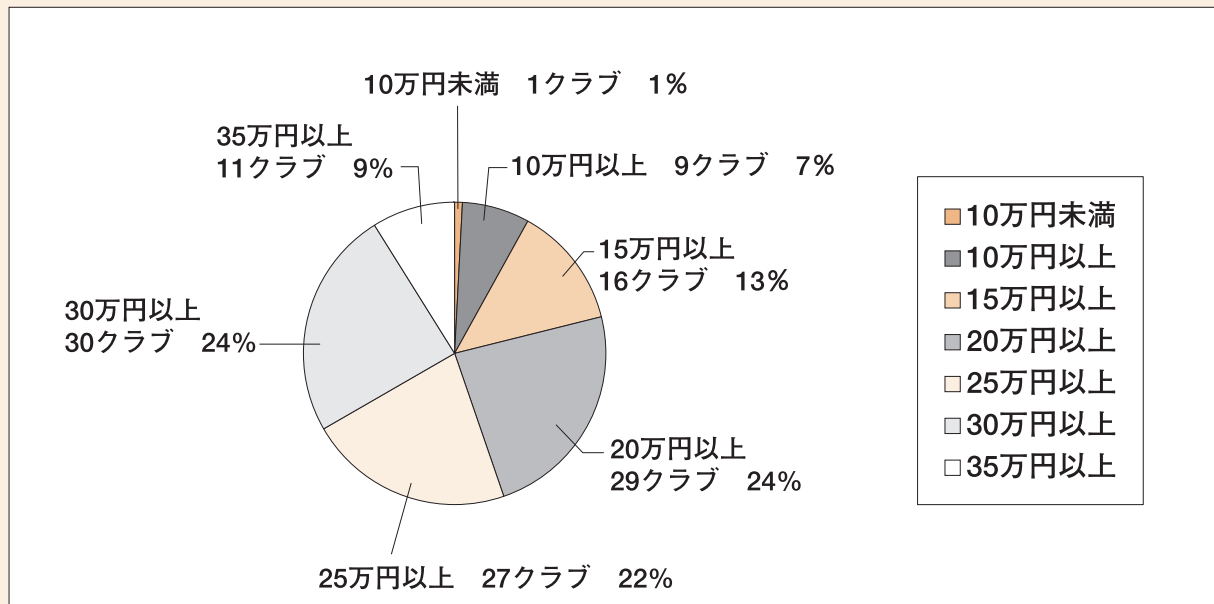
123クラブの会員平均年齢から加重平均値を算出しました。



335—C地区の会員平均年齢は、61.74歳。クラブ全体の平均年齢で、最高齢70歳、最年少33歳でありました。60歳～64歳までのメンバーが、335—C全クラブメンバーの63%を占めることがわかりました。

クラブ年会費

クラブにより年会費の額が大きく違うことがわかりました。

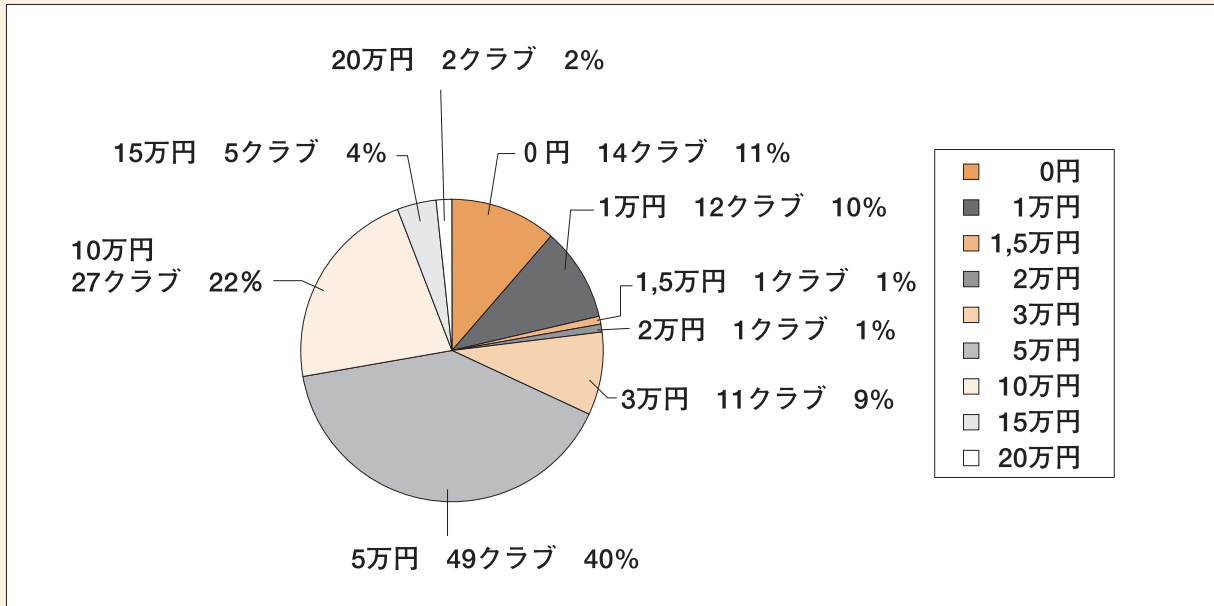


最高額は426,000円、最低額は60,000円となっております。平均年会費は、30万円以上のクラブ41クラブ、25万円以上のクラブ27クラブ、20万円以上のクラブ29クラブ、20万円以上のクラブは全体の79%です。



クラブ入会金

12.1月

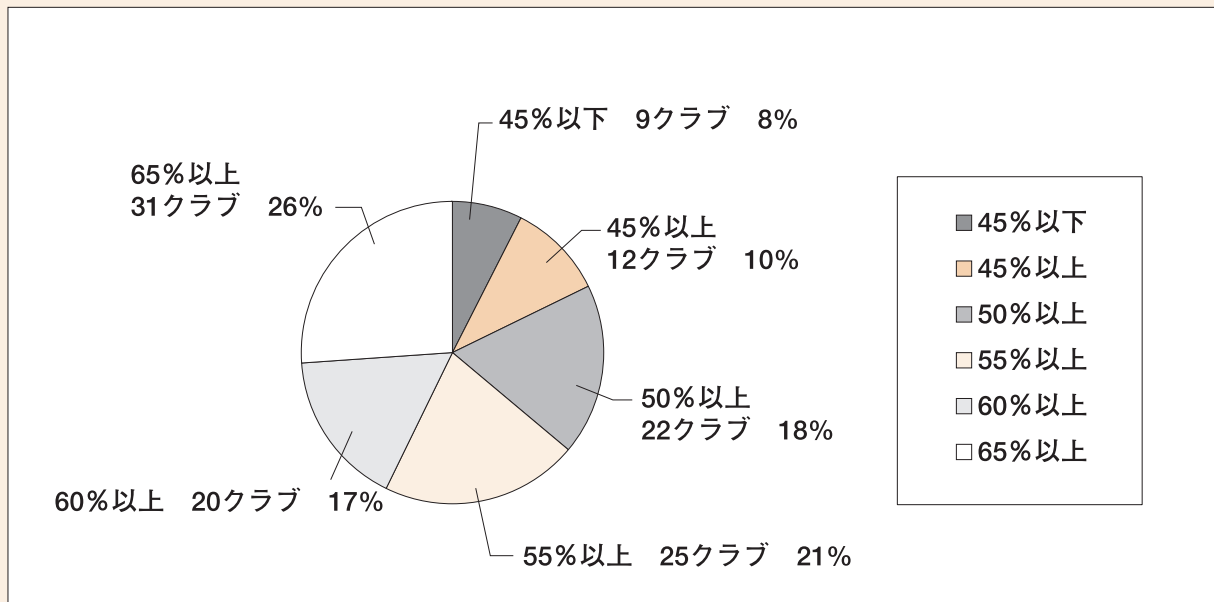


入会金の最高額20万円のクラブが、2クラブあります。72%のクラブは5万円かそれ未満です。入会金をお取りにならないクラブが、14クラブありました。

ライオン誌が実施した全国のクラブの年会費及び入会金アンケート調査の結果が、12月号に掲載されました。それによりますと、昨年度の各クラブの入会金及び年会費は、入会金6万円未満が全体の9割以上を占めていました。1万円未満の入会金は極めて少ない事も分かりました。335-C地区においては、年会費が25万円以上のクラブが5.5割に上る結果は、他地区より突出している事も分かりました。(The Lion 2006年12月号参照)

ご参考

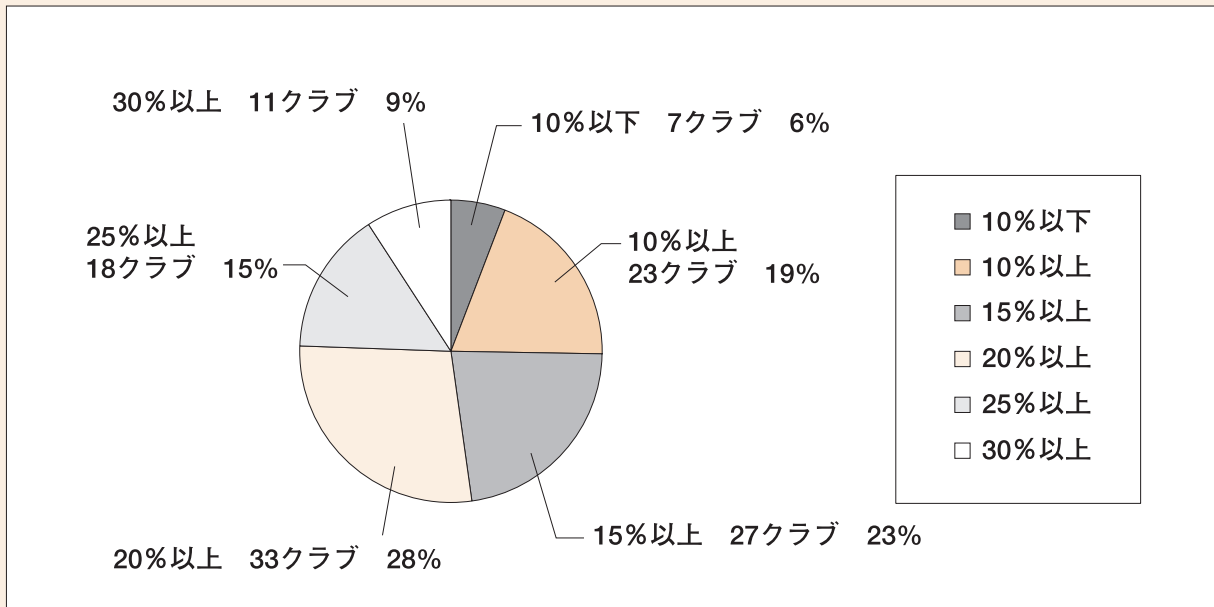
年会費に占める運営費





ご参考

年会費に占める事業費



1. 事業収益

クラブが主催する音楽会、観劇会、展覧会、パーティ、バザー、物品販売その他の事業により、その地域社会から収益した純益金をいう。

アクティビティ予算には、クラブが計画し実行するアクティビティ資金獲得事業によって作り出される資金が充てられるべきである。

2. 会員寄付収入（ドネーション）

会員や家族の誕生、結婚、入学、新築、全快などの内祝いや、弔慰、見舞いなどに対する謝礼その他の意をもって会員が自発的に行う寄付である。ドネーションをする会員は、それがアクティビティに使用されることを期待していると考えられるので、事業費会計に繰り入れられるのが普通であるが、特に必要がある場合（例えば、運営費の中の予備費にも不足をきたすような場合）、理事会と例会の決議によってこれを運営費会計に繰り入れてもよい。

ドネーションは、テール・ツイスター（設置は任意）が事実を紹介して会員の寄付に対する呼び水とし、寄付金の受け取りも、テール・ツイスターがこれに当たっている事例が多い。その場合はファインの受け取りと同様の手続きをとるべきであるが、寄付金を幹事が受け取ってもなんらさしつかえない。

3. 会員拠出金

事業資金として、例会の決議に基づき、全会員から平等に拠出された資金をいう（LCIF協力金、緊急援助資金増額のための会員拠出金を含む）。

4. 賛助金

ライオンズクラブの趣旨に賛同する会員以外の人から、賛助のために贈与を受けた金品をいう。

5. 物品販売益

クラブが会員に物品販売、賃貸などをして得た純利益は、運営費会計に組み入れられることもあるが、事業資金としてもよい。

6. ファイン

ファインは原則として運営資金に繰り入れられ、事業資金には繰り入れられない。その趣旨については本必携第2章Ⅱ.C.2.ファインの項を参照されたい。

7. 会食費剰余金

本必携第9章を参照されたい。

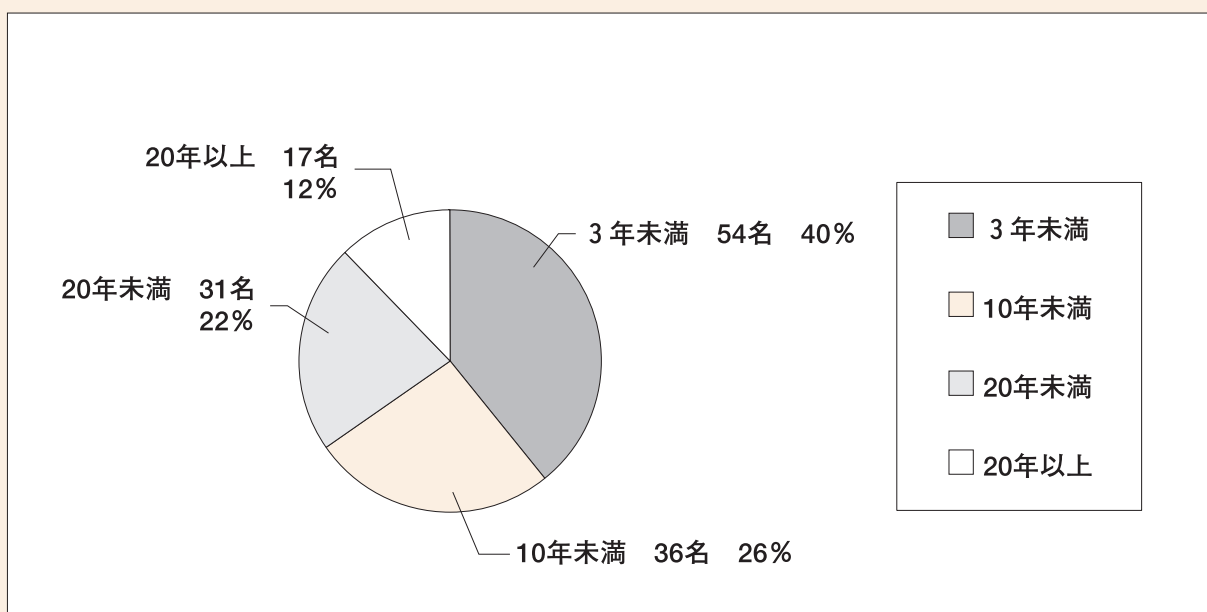
2006～2007ライオンズクラブ役員必携P124より



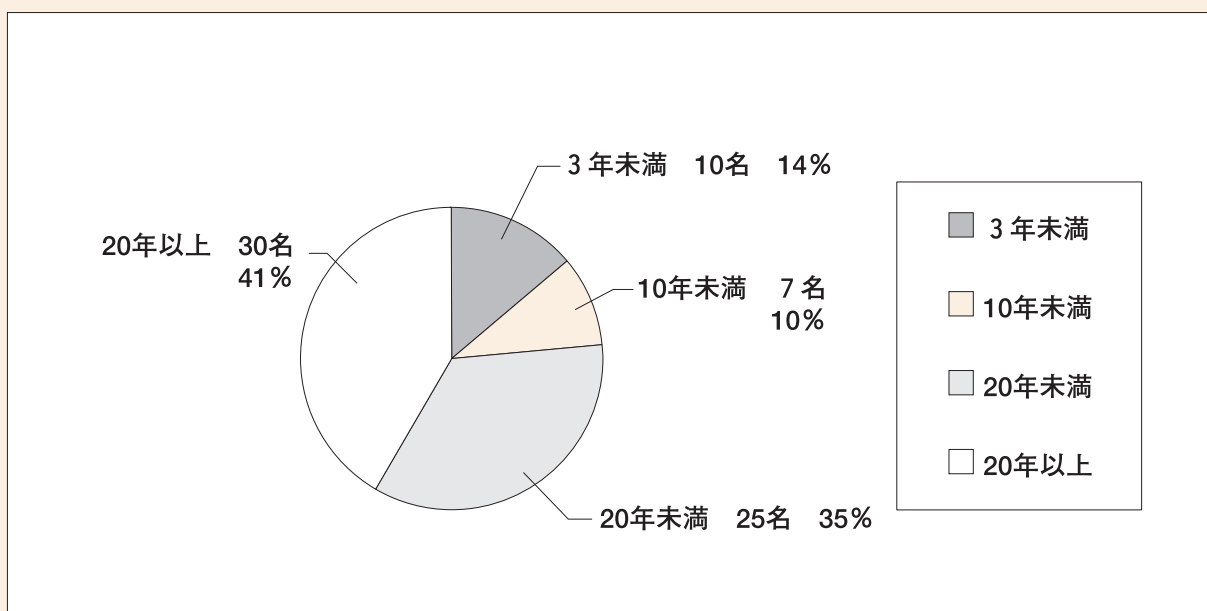
MERL委員会報告

The Lion誌12月号において、国内全クラブを対象に実施されたクラブ・アンケートの結果から、2005～2006年度の入退会者の実像を報告されていました。それによりますと、昨年度中に退会された会員の在籍年数は、3年未満が総数の4分の1、5年以内だと約4割を占めている事が判明しました。退会理由として仕事の都合・経済事情を挙げる人が約半数、続いて健康上の理由、死亡の順でした。当335—C地区でも、当委員会が10月末を切りに地区内各クラブに対し今期リテンションに重点を置く観点から2005年～2006年度の退会者の調査を実施しました。今後この調査結果にもとづいて、退会者を出来るだけ最小限にとどめるべく、その方針を打ち立ててまいります。

仕事上の理由

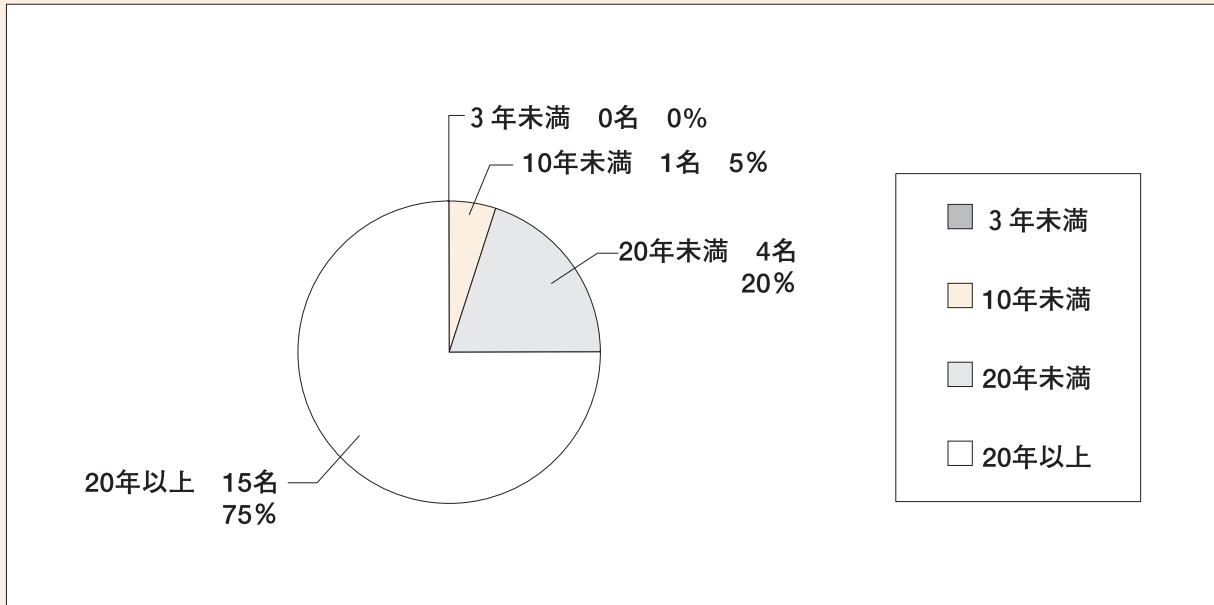


健康上の理由

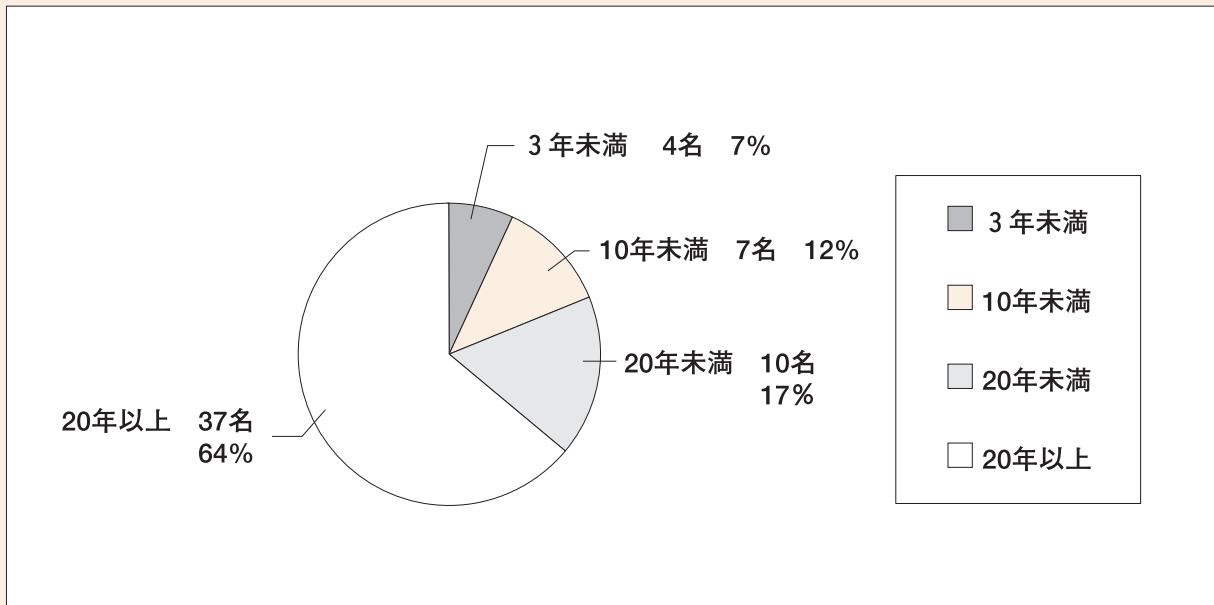




高齢のため



死亡

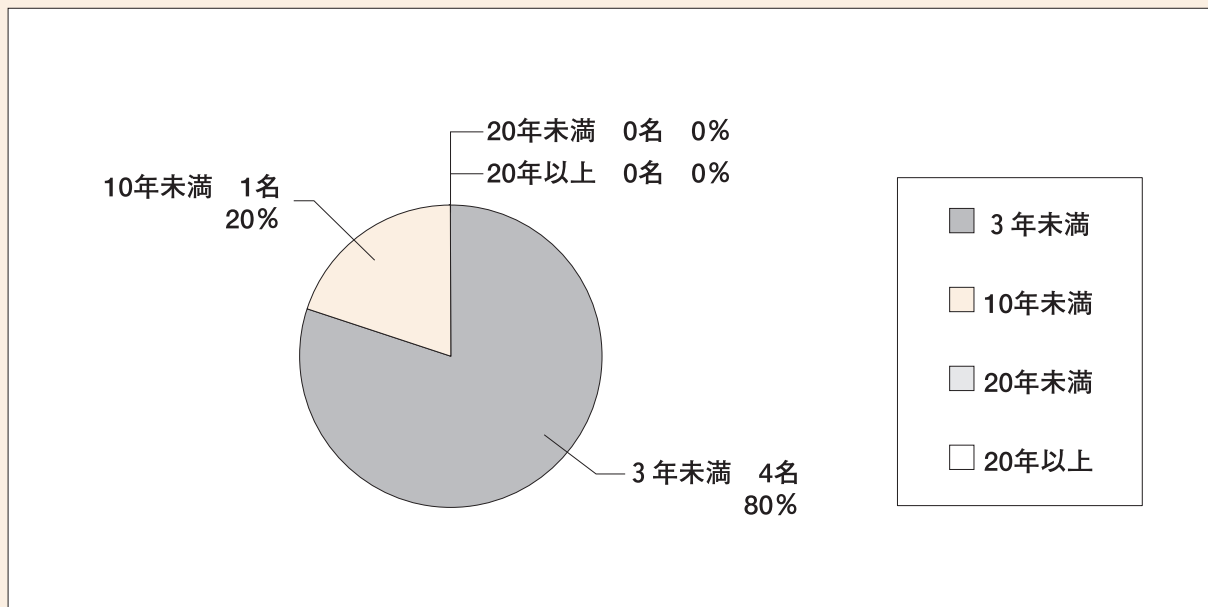


◆アンケートの答えより抜粋◆

- ・なかなか馴染めない。
- ・時間がない。
- ・親族の病気のため。
- ・他クラブへの転入。
- ・身内の不幸や病気が続き、欠席がちであり、クラブにとけ込む以前に退会。
- ・男性グループにも女性グループにも馴染めず退会。
- ・家庭の主婦のため家庭とライオンズの行事が重なり、ジレンマであった。
- ・本人の立ち入りがたい経営上の理由につき、対応のしようがなかった。
- ・家庭環境。
- ・合併した相手側LCの考え方と自分の考え方が合わない。
- ・自身が立ち上げたNPO法人の方が忙しくなり例会出席が困難になった為。
- ・会費滞納のため
- ・会長就任にあたり幹事不在のため。
- ・CN10周年幹事終了後退会。熱意消滅。
- ・会員間のコミュニケーションが上手くいかない。
- ・本人の推薦による新規入会招請人をめぐり、会員委員会の対応に対する批判として退会。
- ・三役等の役職について自身の考え方とクラブ側との意向の違いによる退会。
- ・会員間の酒席での言葉のトラブル。



なじめない



L宮本 博
(S.29年4月16日生)

● **瀬田L・C** ●
京都中央信用金庫
支店長
金融業



L今井 悟
(S.36年9月18日生)

● **瀬田L・C** ●
びわこ銀行 瀬田駅前支店
支店長
銀行業

NEW MEMBERS

新会員の紹介 おめでとうございます



L田中 幸男
(S.36年5月16日生)

● **京都西L・C** ●
有限会社 南都物流
代表取締役
機械器具設置工事業



L杉本 憲史
(S.30年10月4日生)

● **彦根みずほL・C** ●
滋賀中央信用金庫
稲枝支店長
金融



L長谷川常雄
(S.34年11月15日生)

● **奈良L・C** ●
大和証券(株)奈良支店
奈良支店長
証券業



L熊崎紀一郎
(S.34年2月5日生)

● **京都賀茂L・C** ●
大庭不動産コンサルタント
代表者
不動産コンサルタント



L山本 恵一
(S.28年6月13日生)

● **京都賀茂L・C** ●
山本恵一
農業(自営業)



L芦田 英明
(S.25年12月6日生)

● **京都洛中L・C** ●
京料理 あしだ
事業主
料理飲食業



L井上 豊治
(S.45年4月11日生)

● **京都洛中L・C** ●
井上土地家屋調査士事務所
所長
土地家屋調査士



L藤井 義宣
(S.34年1月24日生)

● **奈良セントラルL・C** ●
日興コーディアル証券
部長
証券業



L吉田 馨
(S.28年3月10日生)

● **近江守山L・C** ●
(株)ヨシダエンジニアリング
代表取締役
設備工事業



L一本松秀樹
(S.44年4月14日生)

● **京都西L・C** ●
一本松物流株式会社
取締役
海運業



L 武元 英樹
(S.41年8月12日生)

● 京都桂L・C ●
カトーテック(株)
取締役部長
精密機械製造販売業



L 増田 千富
(S.33年3月11日生)

● 京都桂L・C ●
(有)モモ・コーポレーション
CEO
和雑貨製造販売業



L 辻 彰
(S.27年8月28日生)

● 甲賀L・C ●
(株) ツジヤ
代表取締役社長
小売業



L 大塚 弘
(S.28年2月2日生)

● 京都洛中L・C ●
(宗)北野天満宮
権宮司
神職



L 浦嶋 幸一
(S.31年5月11日生)

● 京都洛中L・C ●
ホテルフジタ京都
総支配人
ホテル



L 嵯峨根 彰
(S.18年3月7日生)

● 亀岡保津川L・C ●
代表者
織物業



L 堤 治雄
(S.22年4月7日生)

● 亀岡保津川L・C ●
ツツミ建密株式会社
代表取締役
建具・硝子製作金物販売



L 西原 偉行
(S.33年7月2日生)

● 亀岡保津川L・C ●
京都中央信用金庫・亀岡駅前支店
支店長
金融機関



L 神谷 哲雄
(S.18年3月20日生)

● 北葛城L・C ●
錫杖院 はじかみ保育園
住職 園長
僧侶 保育園園長



L 増田 裕信
(S.16年11月30日生)

● 北葛城L・C ●
有限会社 増田自動車
代表取締役
自動車販売整備



L 田中 勇
(S.15年4月3日生)

● 京都伏見L・C ●
田中精工株式会社
取締役会長
非鉄金属製造業



L 山口 誠
(S.45年11月13日生)

● 亀岡L・C ●
株式会社 山口精機製作所
常務取締役
精密機器製造



L 光嶋 裕
(S.15年11月22日生)

● 亀岡L・C ●
有限会社 光嶋建築事務所
代表取締役
建築設計



L 前川 昇平
(S.41年11月13日生)

● 網野L・C ●
とり松
店主
飲食業



L 鈴木 正人
(S.37年3月1日生)

● 亀岡保津川L・C ●
ビーメイク
代表者
建築プランナー



L 三林 清美
(S.28年5月22日生)

● 京都鴨川L・C ●
有限会社 三林工務店
社寺・数寄屋建築



L 中井 恭子
(S.29年3月23日生)

● 京都鴨川L・C ●



L 志野 稔
(S.9年12月29日生)

● 京都北L・C ●
(株) 衿 秀
代表取締役社長
和装小物卸



L 前田 眞徳
(S.13年6月1日生)

● 京都北L・C ●
(有) 前田房製作所
取締役社長
医療器具卸



L 三谷 信一
(S.21年6月19日生)

● 京都伏見L・C ●
株式会社 ビオラ
代表取締役
電子機器設計・開発



L 柴田 麗香
(S.31年1月28日生)

● 京都鴨川L・C ●
中央道路株式会社
取締役
建設



L 駒井 靖
(S.41年9月22日生)

● 京都鴨川L・C ●
株式会社 喜久屋駒井
代表取締役
日本料理店



L 小林三和子
(S.11年6月1日生)

● 京都鴨川L・C ●
株式会社 紫峰園
監査役
造園業



L 高野 寿子
(S.13年1月3日生)

● 京都鴨川L・C ●
株式会社 タカノアート
代表取締役
宝飾卸



L 藤原 春美
(S.20年4月28日生)

● 京都鴨川L・C ●
フジプラト株式会社・株式会社ソルベックス
取締役
化学工業



L 中井 義彦
(S.28年12月4日生)

● 榎原L・C ●
大和信用金庫 八木支店
支店長
金融業



L 井上 敬一
(S.28年4月29日生)

● 大和高田L・C ●
株式会社 探検島
代表取締役社長
書籍販売業



L 前原 敏行
(S.35年8月23日生)

● 京都桃山L・C ●
(株) ホームズ
代表取締役
不動産業



L 小林 和也
(S.44年3月1日生)

● 京都西山L・C ●
有限会社 ソインシステム
代表



L 安土 行博
(S.26年3月11日生)

● 京都鴨川L・C ●
株式会社 イー・ピー・アイ
代表取締役
電子機器



L 杉村 雅史
(S.24年12月3日生)

● 御所L・C ●
杉村商店
店主
米穀・燃料小売



L 吉川 良二
(S.25年9月30日生)

● 御所L・C ●
吉川和鋭商店
店主
燃料・たばこ・酒他小売



L 大島 章良
(S.29年11月12日生)

● 御所L・C ●
南都銀行 御所支店
支店長
金融業



L 山井 和則
(S.37年1月6日生)

● 宇治L・C ●
山井和則事務所
衆議院議員



L 田中 義二
(S.12年12月28日生)

● 京都朱雀L・C ●
田中義織物(株)
代表取締役
帯地製造販売



L 酒井 陽一
(S.26年8月10日生)

● 志賀堅田L・C ●
酒井陽一税理士事務所
税理士



L 宮本 説三
(S.40年5月11日生)

● 福知山東L・C ●
近畿日本ツーリスト(株) 福知山支店
支店長
旅行業



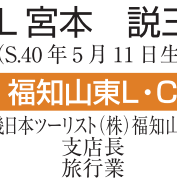
L 田中 秀明
(S.32年2月17日生)

● 福知山東L・C ●
司法書士 田中秀明事務所
司法書士



L 河田 進
(S.37年4月7日生)

● 福知山東L・C ●
(有)河田青果
代表取締役
青果業



L 中谷 勝紀
(S.19年2月20日生)

● 御所L・C ●
済生会御所病院
院長
医師



故 L 中村 吉輝
彦根金亀LC

没 平成 18年 9月 16日
享年 77才

ライオン歴

1969年 10月入会
1981年度 クラブ幹事
1988年度 クラブ会長
1995年度 地区レオ・ライオネス副委員長



故 L 米田 利男
榎原LC

没 平成 18年 6月 29日
享年 80才

ライオン歴

1966年 10月入会
1968年度 副L・T
1976年度 会計

ご冥福を
お祈り申し上げます



故 L 小笠原二郎
五條LC

没 平成 18 年 10 月 1 日
享年 85 才

ライオン歴

1974 ~ 1975 年 会計
1976 ~ 1977 年 情報委員長
1983 ~ 1984 年 安全環境委員長



故 L 竹上 文治
橿原LC

没 平成 18 年 9 月 24 日
享年 80 才

ライオン歴

1976 年 4 月 入会
1993 年度 会長
1994 年度 地区レオ・ライオネス委員



故 L 山崎 義久
京都烏丸LC

没 平成 18 年 9 月 23 日
享年 47 才

ライオン歴

2006 ~ 2007 年 会計



故 L 辻 昌宏
大和郡山LC

没 平成 18 年 10 月 18 日
享年 60 才

ライオン歴

1991 年 入会
2003 年度 会計
2004 年度 第二副会長
2005 年度 第一副会長
2006 年度 会長



故 L 久保 篤三
京都御室LC

没 平成 18 年 10 月 3 日
享年 78 才

ライオン歴

1982 ~ 1983 年度 会長



故 L 松尾 寿孝
近江八幡LC

没 平成 18 年 10 月 3 日
享年 77 才

ライオン歴

1984 年 10 月 入会
1991 年度 幹事
1997 年度 会長
2005 年度 会計

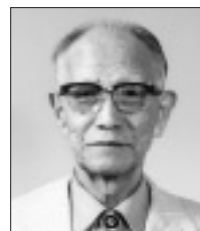


故 L 那須 安彦
野洲LC

没 平成 18 年 10 月 26 日
享年 75 才

ライオン歴

1998 ~ 1999 年 会長
2005 ~ 2006 年 P R 情報 I T 副委員長



故 L 三津川芳雄
大津比叡LC

没 平成 18 年 10 月 26 日
享年 84 才

ライオン歴

1976 年 6 月 17 日 入会
1984 ~ 1985 年 幹事
1989 ~ 1990 年 会長



京菓子は都が育んだ
文化の華。
夢と楽しさの世界。

四季折りをりの

御蒸菓子と御干菓子
野菜煎餅。うすべに。
両判。光悦煎餅。

京菓子司



末富

京都市下京区松原通室町東
〒600-8427
電話075-351-0808
Fax 075-351-8450

L 山口富蔵 (京都LC)

京の老舗

京都府佛具協同組合推奨店

加茂川育ちの
京仏壇
加茂定

京都市下京区万寿寺通高倉西入
(地下鉄烏丸線五条駅北出口1番より一筋上ル三筋目東入南側)

☎ (075) 351-0128 (代表) ■年中無休 ■駐車場有

■0120-088375 (フリーダイヤル)

古い仏壇の洗い修理承ります。

<http://www.kamosada.ne.jp>

古都の加茂川のほとりで育って
百六拾年余、皆様のご愛顧、
お引き立てにより
迎えることができました。



加茂定

京仏壇製造元

経済産業大臣指定
伝統的工芸品



L 加茂定治 (京都朱雀LC)

画：三田村宗二先生 作

五代目 加茂 定治

記念例会 誠におめでとうございます



11/11 野洲LC.CN25周年



10/5 草津LC.CN45周年



10/23 彦根金亀LC.CN40周年

5年、10年、15年など5年刻みの記念式典は、チャーター・ナイトとは全く趣を異にするものです。クラブの記念式典を行うという事は、そのクラブ自体が今日まで発展し続けてきたことを会員どうして喜び合い、さらに将来への発展とライオンズムの高揚を再び確認し合う場と考えます。今期、記念式典をされた皆様には心からお祝いを申し上げます。



10/14 田原本LC.CN30周年

Lions Times

ザ・ライオンタイムズ (335-C地区機関紙)
 発行日●2007年1月1日
 発行者●ガバナー 八島 隆
 発行●ライオンズクラブ国際協会335-C地区PR・情報・IT委員会
 編集者●PR・情報・IT委員長 村上紘一郎 (京都LC)
 事務局●〒600-8237 京都市下京区堀川通塩小路
 リーガロイヤルホテル京都3F 364号室
 TEL. (075) 344-0258
 FAX. (075) 344-0277

編集後記

あつという間の新年号。ボストン国際大会のガバナー帰朝報告会の写真集、女性クラブ初代会長の座談会、平和ポスターコンテスト入賞作品の報告、YE生の活動特集。加えて、各クラブよりお寄せ戴いたACTは全て335-C地区のホームページに掲載をして情報の迅速性を実現した。委員会の皆様に改めて感謝。後半、更なる充実を図り、キャビネットと地区内会員を繋ぐ情報をお届けいたします。

PR・情報・IT委員長 村上紘一郎

副委員長 高田年雄 (京都北LC) 四條文子 (京都むらさきLC)
 田 聡 (福知山LC) 南 英三 (草津LC)
 藤井 守 (桜井LC)
 担当運営委員 岸田守弘 (樺原LC)